

# 修了生の活躍事例

## 東北能開大への入校動機

他の大学に比べ、「実習が多いこと」や「学費が安いこと」が大きかったです。実習ができたことで職人さんの考え方や大変さを少しでも理解できていると思います。職人さんとの話し方も変わり、納得して作業してくれることが多いです。また、学費が安いことで社会人になってからの学費返済が他の大学と比べて楽だと感じます。

株式会社鴻池組

佐藤 美朋 さん

東北職業能力開発大学校

応用課程

建築施工システム技術科

令和3年度 修了

## 将来の目標など

一級建築士資格を取得し、施工管理で学んだことを図面で表現できたらと思います。職人さんが怪我しないように、職人さんの動きまで考えた図面を書きたいです。

また、宅建士の資格を持っているので、せつかくなら宅建士の仕事もやりたいなと思っています。そのためには、まだ現場で沢山勉強します。

## 現在の仕事内容について

5m×5mほどのRC造を型枠建込、配筋を行い、打設する作業がありました。その過程でRC造の構造を学ぶことができ、入社1年目から工程の流れを把握しながら施工管理をできました。職人さんの今後の動きや、配筋写真を撮るタイミングなど自身で考えながら取り組んでいると思います。

## 大学校の後輩に対するコメント

私は「能開大で何を頑張ったか」と聞かれたら「勉強をひたすらに4年間やり遂げた」と自身を持って言えます。高校は普通科出身で、クラスには建築科をでたクラスメイトも多く、最初の授業はついていけませんでした。ですが、何か負けないものを作りたいと思い、一年生の時に宅建士の資格を取得しました。頭が良いわけでもなく、夏休みに毎日大学に通って勉強しました。寝るのも毎日1-2時間程度でした。ひたすらに勉強した結果です。それをきっかけに、二級建築士にも取り組み、合格することが出来ました。現在は、一級建築士の学科を通過し、残りは製図のみ！！です。皆さんにも、自信をもってやり遂げられるものを作ってほしいです。

